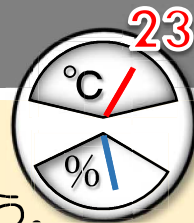




花粉交配用みつばちを適切に管理しましょう！

みつばちは生き物です。不適切な管理では長く健康に働くことができません。
みつばちに適した管理と、働きやすい環境作りをお願いします。

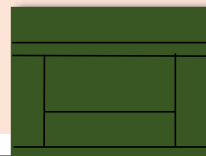
1. みつばちが働きやすいハウス内の環境づくり



- 活動適温は20℃～25℃、湿度は75%以下です。
- ハウス内の出入り口やフィルムに隙間を空けないようにしましょう。
- 紫外線カットフィルムは活動に影響するので注意しましょう。

2. みつばちの適切な管理

- 巣箱はむやみに動かさないようにしましょう。
- 適切な給餌をしましょう。



3. 農薬の取扱い

- ラベルをよく読み、影響の有無と使用方法を必ず確認しましょう。
- 散布時は巣箱を外に出しましょう。薬剤の影響日数を確認の上、影響日数経過後もあせらず余裕を持って戻しましょう。
- 散布後はハウス内の換気に注意しましょう。
- 水たまりに農薬が残っている場合があります。マルチやシートに水たまりを残さない、水たまりが残ったまま巣箱を戻さないよう注意しましょう。



4. 必要に応じて代替手段を利用

- みつばちの使用が難しい場合は、マルハナバチやビーフライ（ヒロズキンバエ）の活用も検討しましょう。



このほか、農林水産省ホームページで公開している施設園芸農家向けマニュアルもご参照ください。

<http://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/sonota/pdf/kafunkouhai.pdf>

(施設園芸農家向けマニュアル)

裏面のチェックリストも
ご活用ください。



みつばちを適切に使うためのチェックリスト

1. ハウス内の働きやすい環境づくり

- 温度、湿度は適切ですか。活動適温は 20℃～25℃です。夜間の低温、日中の高温に注意しましょう。また高湿度もみつばちの消耗に繋がります。
- 紫外線カットフィルムはみつばちの活動に影響します。資材メーカー等に確認した上で使用していますか。
- 出入口やフィルムに隙間はありませんか。みつばちが挟まらないようにしましょう。

2. みつばちの適切な管理

- 帰巢しやすい工夫をしていますか。巣箱の位置は変えないようにしましょう。また台座を設け、青い看板の目印を置くなどの工夫をしましょう。
- 適切な餌を適切な濃度で与えていますか。借り入れた養蜂家、販売業者等の指示に従っていますか。
- 使用後のみつばちは、適切な焼却・返却を行っていますか。放置すると病気のまん延を引き起こす恐れがあります。

3. 農薬の取扱い

- 農薬・殺菌剤のラベルをよく読み、みつばちへの影響は確認しましたか。影響が低いものを選びましょう。
- 農薬散布時は必ず巣箱を外に出していますか。
- 散布後はハウス内の換気をしましたか。
- マルチやシートにできた水たまりに農薬が残ってしまう場合があります。水たまりができる凹みを作らない、水たまりが残ったまま巣箱を戻さないなど工夫しましょう。
- 定められた影響日数を確認し、影響日数が経過した後、余裕を持った上で元の場所に戻していますか。

4. 必要に応じて代替手段の利用

- いちご等でマルハナバチやビーフライの併用・代用技術が確立されています。みつばちの使用が難しい場合は、販売業者等に使用方法を確認するなど、他の手段も検討しましょう。